

令和5年度 中央区立日本橋幼稚園 自己評価報告書

幼稚園名：中央区立日本橋幼稚園

所在地：中央区日本橋人形町 1-1-17

園長名：児玉 大祐

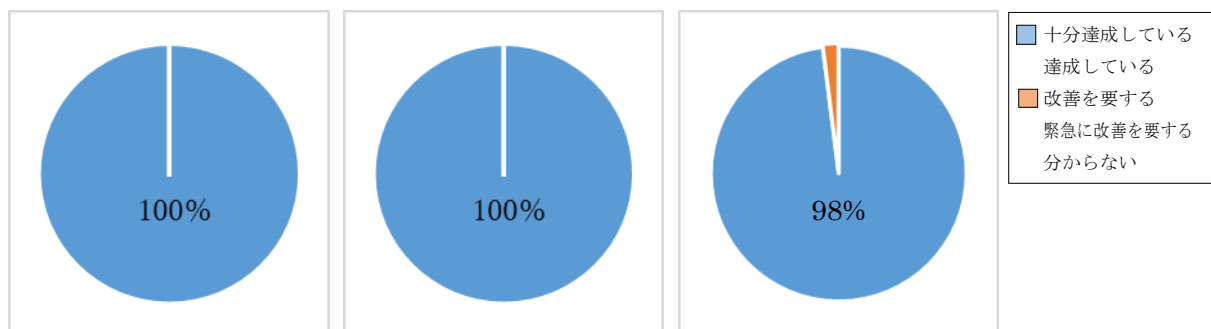
幼児数：64名 学級数：3学級 教員数：3名

1. 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標に対する評価は以下の結果であった。

回答：保護者 77人中 67人回答（約86%） 実施時期：12月

○重点目標Ⅰ 心身ともに健康で、自分らしさを素直に表現できる『げんきな こ』を育む。



①一人一人の幼児が、走る、踊る、跳ぶ等、体を動かして遊ぶ楽しさを味わえたか。

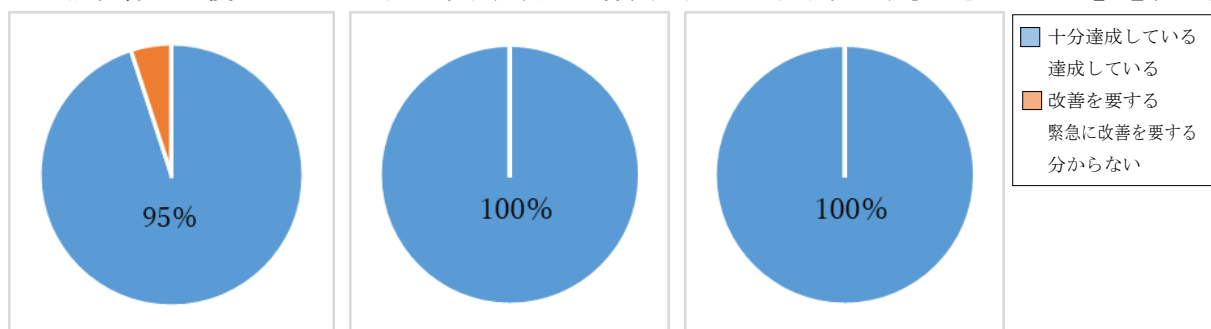
②様々な運動遊びを通して、以前より身のこなしがよくなったか。

③身の回りの自然物や栽培物に興味、関心をもって見る、触れる等していたか。

評価指標①②は、100%の肯定的な回答を得た。昨年度から継続している「親子運動遊び」と「つつみんぴくく」での幼児の姿から、運動遊びを楽しんでいることや身のこなしの変化を保護者が実感した結果と考える。

評価指標③では、『分からない』と答えた保護者が1名おり、教員の自己評価でも自然環境への関わらせ方を学びたいという声があがっている。

○重点目標Ⅱ 優しく思いやりがあり、友達と仲良く遊びに取り組む、『やさしい こ』を育む。



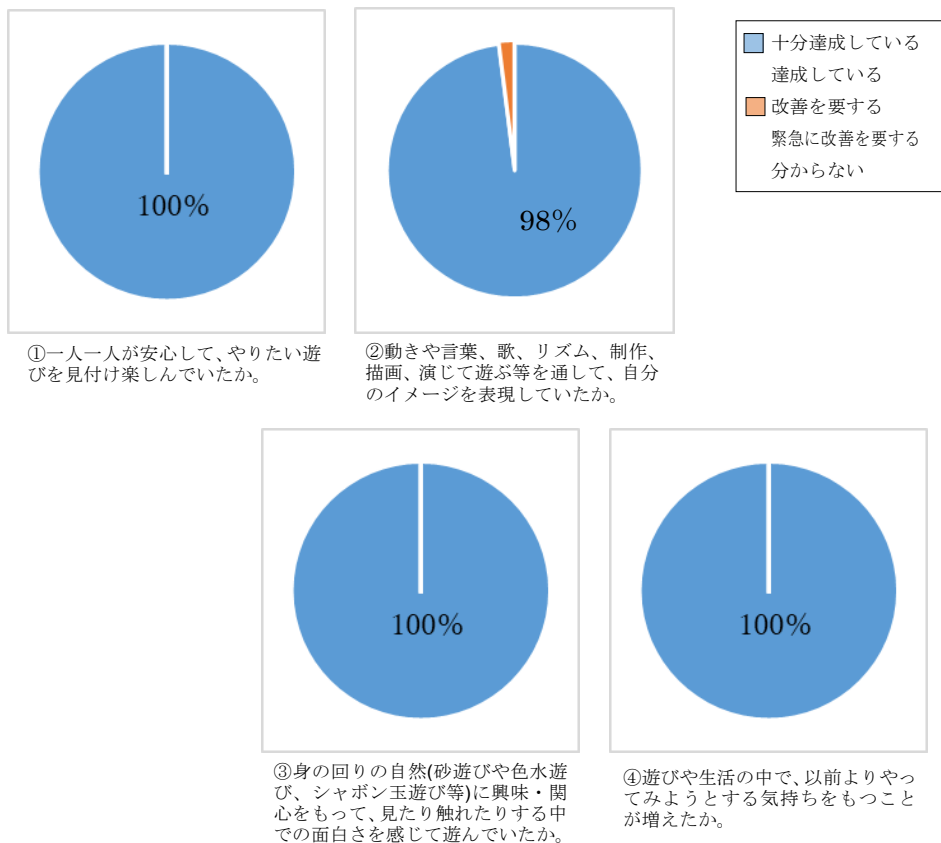
①生活に必要な言葉を、自分から言えるようになったか。

②他学年の園児と一緒に活動をする中で、関わりを喜んで遊ぶことができたか。

③自分の住んでいる地域や身近な人に、親しみの気持ちをもてているか。

評価指標①では、3名の保護者が『改善を要する』と答えている。幼稚園での取組や様子を伝え、家庭での様子を聞き取りながら連携していく必要がある。評価指標②③は、本園が特に力を入れている「異年齢交流」と「地域との交流」に関する項目である。幼稚園の取組を園務支援システム「ルクミー」や降園時の話・保護者会・学級懇談会等で発信してきたことで、保護者の理解を得られたと考える。

○重点目標Ⅲ 自分で考えて行動し、最後までやりぬく努力をする『かんがえる こ』を育む。



評価指標①③④では、季節に応じた遊びの中で幼児がどのような学びを積み重ねているかを、日常的に「ルクミー」で発信してきたことが、高評価につながったと考える。評価指標②では『わからない』と答えた保護者が1名いた。

2. 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

全体の評価においても、全ての項目で95%以上の肯定的な評価を得た。今年度より保育後の施設開放を始めたことで、保護者が幼稚園の環境を身近に感じられたことや、保護者同士の関係性が深まり情報共有や安心感に繋がったことが、一因として考えられる。

『改善を要する』『分からない』と答えた保護者がいた項目は、「安全指導」や「保育園との連携」等である。毎月行う安全指導の内容を保護者に伝えたり、保育園との連携内容を保護者会で知らせたりするなど、改善を図っている。

3. 今後の改善方策

○重点目標Ⅰに対して

- ・本園の自然環境を見直し、改善を図って保育に活かす。

○重点目標Ⅱに対して

- ・引き続き、保護者に向けた細やかな情報発信を行い、教育内容の理解を得る。

○重点目標Ⅲに対して

- ・幼児の様々な表現活動を、「ルクミー」だけでなく実際の幼児の姿や作品等を通して伝える機会も大切にする。